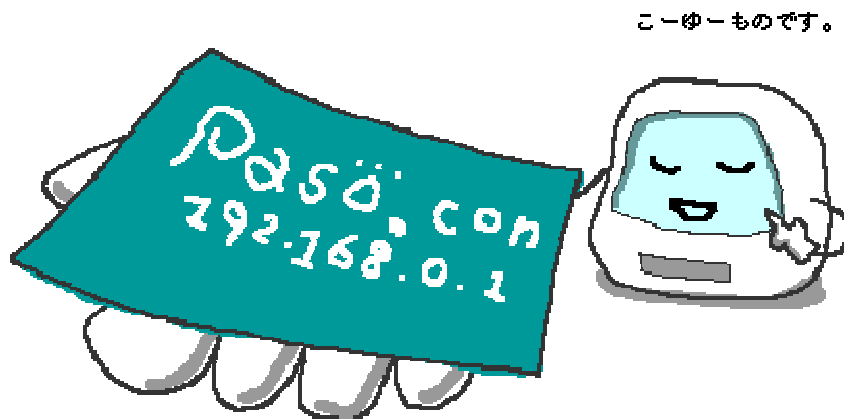


## ドメインとは？



\* 上記ドメインは存在しないか、架空のものです。

### ▼ ドメインってなに？

ドメイン(=domain)とは「インターネット上にあるコンピュータを指す識別子」のことです。簡単に云うとインターネット上の「住所」と云う事になります。東京都千代田区うんぬん…のあの住所と同じです。ホームページの在処を示す「例: <http://www.netlaputa.jp>」を「ホームページアドレス=URL」と呼ぶのはここから来ています。ちなみに「URL」とは「Uniform Resource Locator」の略語でインターネット上の接続先を指定する規格の事で、各々の情報の種類に対する通信プロトコルとファイルの指定方法を定め、「Internet Explorer(=インターネットエクスプローラ)」や「Netscape(=ネットスケープ)」などの「WWW ブラウザ/Web ブラウザ」ソフトはこれを使ってホームページを検索し接続しその場所にあったデータを呼び出して表示しているのです。

では「インターネット上の住所」である「ドメイン」とは「どの部分」を指すのでしょうか。例えばメールアドレスが「[info@netlaputa.jp](mailto:info@netlaputa.jp)」の場合は、@(=アットマーク)のすぐ後ろの部分「netlaputa.jp」がドメイン名となります。またホームページアドレス(=URL)が「<http://www.netlaputa.jp/>」の場合は、最初の「http://」と最後の「/」を取った部分、「netlaputa.jp」がドメイン名となります。ドメイン名の表記は、必ず各々の文字列を「.(ドット=ピリオド)」で区切り、それぞれ意味を持ちます。各々右側から「トップレベルドメイン」「セカンドレベルドメイン」…と呼び、ドメイン名によっては申請者が登録出来る部分=使える文字の種類や数などのルール内で自由に決められる部分が「サードレベル」であるもの「.co.jp など」や「セカンドレベル」から決められるもの「.com など」があります。

### ▼ たったひとつしかないもの = ドメイン。

ドメイン名は世界中にひとつしか存在しません。人間の場合同名同性が存在しますが、ドメイン名の場合は絶対

に存在しません。但しその差が僅かな場合があります。例えば

「net-laputa.jp」

「netlaputa.jp」

では「- (=ハイフン)」があるかないかの差ですが両者は別々のドメイン名になります。また

「net-laputa.com」

「net-laputa.net」

「net-laputa.info」

も別のドメインとなります。よくみると「com / net / info」とトップレベルドメインが違います。では、次の場合はどうでしょう。

「netlaputa.jp」

「NetLaputa.jp」

「NETLAPUTA.jp」

「NETLAPUTA.JP」

「NeTLaPuTa.jp」

正解は「同一」です。つまりドメインとは大文字／小文字の判断はせずに純粋に文字列だけを見て判別していることがわかります。

\* 注 \* 文中で使用しているドメイン名はドメインの機能を説明する上で必要なサンプルとして記述させて頂いており、他意はありません。

## ▼ ドメインの意味と役割。

ではドメイン名にはどんな意味や役割があるのでしょうか。インターネットに接続しているコンピュータは個々を区別するために「固有の番号」を持っています。「210.168.0.1」と云った「.(=ピリオド)」で区切られた4つの数字群をご覧になった事はないでしょうか。実はこの数字が「アドレス(=住所)」なのです。これを「IP アドレス」と呼びます。つまりIPアドレスは「どの番号がどのコンピュータであるかを示している」のです。もちろんIPアドレスは重複していません。そしてこのIPアドレス番号=どのコンピュータかの一覧表として持つのが「DNS=Domain Name System =ドメインネームシステム」サーバなのです。しかし、全部のコンピュータが数字で表されたらどうでしょう。「私のメールアドレスは、info@210.168.0.1 です。」「私のホームページは、http://210.158.230.1/ です。」と云われてもぴんときません。意味のない数字の羅列では非常に使いにくくなってしまいます。そこでドメイン名を割り当てたのです。IPアドレス番号ひとつひとつに個々の名前=ドメイン名/ドメインネームを割り当てる事で使いやすく、判りやすくしているのです。つまりブラウザで何気なく「http://www.netlaputa.jp/」と打ち込みホームページを閲覧しますが、実は一旦IPアドレスに変換されているのです。それではドメイン名はどうやってIPアドレスに変換されるのでしょうか？実は先程出てきた「DNS=ドメインネームシステム」サーバで「ドメイン名→IPアドレス」に変換しているのです。DNSサーバにはそのドメイン名がどのIPアドレス番号であるかという情報(=レコード)を持っています。そしてそのドメイン名にアクセスがあった時にどのドメインネームサーバに記録(=レコード)があるという登録が正しくされていた場合、例えば、

「netlaputa.ne.jp」→(アクセス)→「DNS サーバ」→(検索)→「210.158.228.213」

という変換作業が行われ、どこコンピュータかをレコードのリストを元に目的のサーバに到着するのです。イメージとしては「出席番号 23 番 = IP アドレス で 山田太郎 = ドメイン名 としてそれを書いた 出席簿 = DNS」という感じ。そしてこの出席簿があれば私たちは覚えにくい出席番号ではなく親しみのある山田太郎を覚えればいい事になるワケです。但し、インターネット上では「ドメイン名は重複して存在してはいけない」というルールがあるため、山田太郎はたったひとりしかいませんが。

## ▼ ドメインの種類。

ドメイン名には大きく分けて 2 つの種類があります。「ccTLD」と「gTLD」です。

「ccTLD」とは「Country Code Top Level Domain」の略称で、トップレベルドメイン (= Top Level Domain = TLD) が決められたコードに基づき国や地域単位で割り当てられているドメイン名の事です。

例) JP(日本)、US(アメリカ)、AU(オーストラリア)、FR(フランス) 等。

これらのドメイン名の取得と使用について「その国に在住していなければならない」等の制限がある場合があります。

「gTLD」とは「Generic Top Level Domain」の略称で、セカンドレベルを申請者が登録することができるドメイン名の事です。特に TLD とは「COM/NET/ORG/INFO/BIZ/NAME 等」が該当します。これらのドメイン名は(一部を除いて)誰でも登録申請する事ができます。

ccTLD



属性型地域型 : .co.jp / .ne.jp / .or.jp / .gr.jp  
汎用 JP ドメイン : .JP

gTLD



.com / .net / .org / .info / .biz

### 【属性型地域型ドメイン】

co.jp / ne.jp / or.jp / gr.jp 等サードレベルを登録することができるものを表します。

### 【汎用 JP ドメイン】

「.JP」=jp の前のセカンドレベルを登録することができる JP ドメインを表します。

例) netlaputa.jp

## ▼ JP ドメインについて。

JP ドメインは「JPRS＝株式会社日本レジストリサービス」がレジストリです。レジストリとは、各 TLD(=Top Level Domain)のデータベースを一括管理する組織でその必要性から「1TLD に 1 レジストリ」という独占状態となっています。特に JP ドメインの取得に関しては JPRS が認めた業者のみ申請可能となっています。ネトラピユタは、JPRS の指定事業者ですので、JPRS が管理する JP ドメインを登録申請管理することができます。

## ▼ g TLD について。

gTLD のレジストリは各 TLD(=Top Level Domain)毎に数社存在します。「com/net」等は「VeriSign GRS」が、「info」は「NeuLevel」が管理しています。現在ネトラピユタが取得可能なドメインは「com/net/org/info/biz/tv」となっています。

\* ネトラピユタでは特定の指定業者を通じてレジストリにドメインを登録しています。このようなレジストリのデータベースに直接アクセス出来る業者を「レジストラ」といいます。また、登録者を「レジストラント」といいます。

## ▼ ドメインを取得するには。

ドメインを申請取得するためにはいくつかの必要情報があり、ドメイン名によっては書類が必要な場合もあります。詳しくはご希望ドメインを明記の上ネトラピユタ事務局までお問い合わせください。

ドメイン名は先願方式つまり「早もの勝ち」です。先に申請した人に権利があります。取得しようと思った時には既に他の誰かがそのドメインを申請してしまっていた後で取得できない、なんて事は当たり前の世界です。思いついたらまずチェック。ご希望のドメイン名が空いているか、まだ誰にも使われてないかチェックをしてみましょう。ドメイン名のチェックは、各レジストラにて提供されています。

## ▼ ドメイン名のルール。

既に多くのドメイン名が存在している現在ではシンプルな文字列による新たなドメイン名の取得は困難な状況です。しかしせっかく取得するドメイン名です、ぜひよい名前を考えてみてください。ここではドメイン名を考える際のコツをいくつかあげてみました。

ドメインの種類	使用可能な文字	使用可能な文字数
.com/.net/.org	半角英数=「A~Z」「0~9」 半角ハイフン=「-」	半角 63 文字以下
属性型 JP ドメイン JPRS	半角英数=「A~Z」「0~9」 半角ハイフン=「-」	半角 3 文字以上 63 文字以下
.JP ドメイン JRPS	半角英数=「A~Z」「0~9」 半角ハイフン=「-」	半角 3 文字以上 63 文字以下

#### 【注意事項】

- \* 全てのドメイン名において既に取得済みとなっているものは新たに取得する事はできません。
- \* 全てのドメイン名においてそのドメイン名の頭と終わりが半角ハイフンのものは取得できません。
- \* [!\$%&#'^~@\*?!]などの記号は使用できません。
- \* 「co.jp」ドメイン名は会社法人の方のみ、「or.jp」ドメイン名は会社以外の法人団体の方のみの申請に限られます。また、いずれも「1 法人 1 ドメイン名」のみの取得となりますのでご注意ください。
- \* 「ne.jp」「or.jp」ドメイン名を取得する際、印鑑と印鑑証明書が必要です。予めご用意されることをお奨め致します。
- \* 「co.jp」ドメイン名を取得の際、会社登記前の申請には申請担当者の印鑑証明書が必要です。また、この際取得されたドメインは仮登録状態であるため、その後 6 ヶ月以内に本登録が必要です。その際にも申請担当者と会社代表者となる方の印鑑証明書(発行より 3 か月以内のもの)が必要となります。

## ▼ ドメイン名のつけかたのコツ。

既に多くのドメイン名が存在している現在ではシンプルな文字列による新たなドメイン名の取得は困難な状況です。しかしせっかく取得するドメイン名です、ぜひよい名前を考えてみてください。ここではドメイン名を考える際のコツをいくつかあげてみました。

### 極力短いモノ。

→ユーザは結局キーを押してホームページアドレスを一字一字入力していきます。短い方がそれだけ間違えもなく手間もかかりません。

### 関連づけのしやすいモノ。

→会社名やサービス名=ドメイン名であれば新たに覚える事もなく入力する事ができます。

### 覚えやすいモノ。

→例えば NextWeb を NW と略してしまうのもひとつの手ですが、あまり極端すぎるとユーザが何の意味か判らず結果覚えて貰えません。実際に存在する英単語や名称などを上手く使って極力覚えやすくしましょう。

### インパクトのあるモノ。

→例えば「お問い合わせ用電話番号」をそのままドメイン名にしてみたり、「com」や「net」と繋がってひとつの意味を形成したり、語呂合わせを上手く利用したり、、、などなど一度見ただけで忘れないようなドメイン名を考えられるかどうかでアクセス数も大きく違って来るかも知れません。

## ▼ドメインの活用法。

希望通りのドメイン名を取得できました！！しかしドメイン名は取得しただけでは何にもなりません。これからホームページ作成です。まずは取得したドメインを使ってサーバを開きましょう。ネットラピュタのホスティングサービスでは、取得したドメインを使ってそのドメイン名入りメールアドレスやドメイン名でホームページを持つことが可能です。

〒150-0012  
東京都渋谷区広尾5-22-3 広尾西川ビル3F  
ネットラピュタ株式会社  
tel:03-5475-6950 fax:03-3442-1012 ◆平日 10:00～18:00◆  
<http://www.netlaputa.ne.jp/> e-mail:sales@netlaputa.ne.jp

